

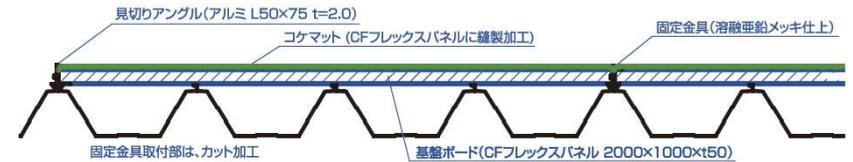
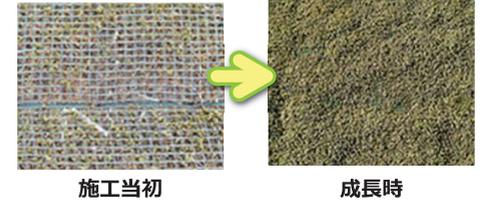
# コケ緑化(CFモスシステム工法)とは

- コケ緑化は、日本に自生する「スナゴケ」を用い、その強い生命力を生かした緑化工法です。
- 灌水、刈込み、施肥などのメンテナンスをほとんど必要とせず、究極の低ランニングコスト緑化を実現します。

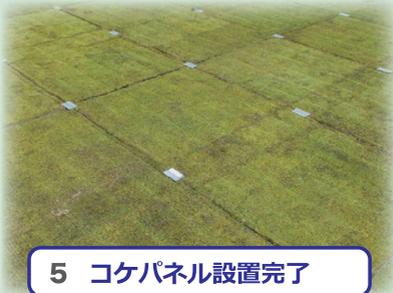
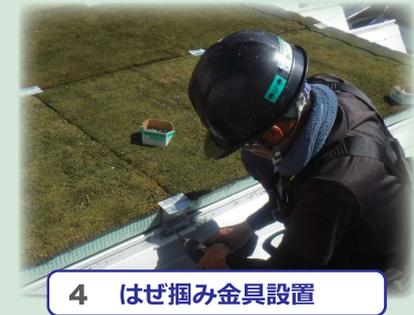
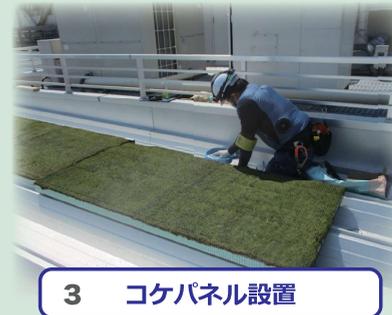
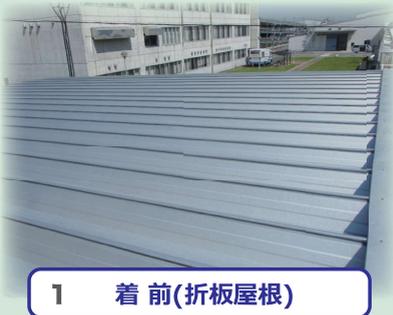
## コケ緑化の特徴

システム重量	● 約 10~20kg/m <sup>2</sup> (システム厚約40mm~)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 丈夫で乾燥に強い「スナゴケ」を用いるため、直射日光が長時間あたる場所でも利用可</li> <li>● 工場立地法や緑化地域制度で義務付けられた緑地面積を確保する方法として有効</li> <li>● 非常に軽量なため、<b>既存の折板屋根や陸屋根に施工可能</b></li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コケのみの緑化のため、景観に乏しい</li> <li>● 踏圧に弱く人が常に立ち入るような場所には利用できない</li> </ul>
管理方法	● 巡視程度 (巡視により不具合が見つかった場合は改善策を提案)

飛散防止メッシュで覆い、メッシュと一体化したものを使用することで、コケの飛散、剥がれなどを防止します。



## 折板屋根への施工の流れ (コケパネル工法の一例) ※屋根条件により使用材料や工法が異なります。



(養生ネットはコケの成長後、取り外します)



● 当社では山林管理の実績があるため、積み重ねた知識とノウハウを山林作業に活かします。

## 保有する 山林作業技術

- ▲ 管理計画に沿って保全工事・山林撫育(ぶいく)・樹木間伐等について管理監督する技術
- ▲ 樹木倒壊現場での伐採業務管理監督やその教育技術
- ▲ 環境教育現場における教育技術

## 現在実施している主な山林業務

### ◎ 送電線下の伐採業務(送電線新設に伴う伐採)



伐採着前



伐採状況



モノレールによる運搬



伐採完了



特殊重機による法面作業



滑落防止ロープの使用



特殊重機による集積

山林作業に特化した重機を使用して、不整地での安定性を確保します。

### ◎ 植林工事(ポット苗植栽)



着工前

植林着前



完工

植林完了



状況

植林状況